

杉並区交流自治体 北塩原村から観光案内が届きました

北塩原村は、東京から北に約300km、福島県の北西に位置しており、総面積約234km²のうち80%は山間部というとても自然豊かな村です。

村は大きく4つの地区に分かれ、農業や観光、それぞれ独自の深い歴史がありとても魅力的です。まず「北山地区」。主にアスパラやきゅうり、米などを栽培しており農業が盛んな地区です。ここで収穫される米「天のつづ」は、つづが大きく粘りが少ないため、寿司米やカレーライスなどにオススメです！

次に「大塩地区」。村の特産品「会津山塩」を作る温泉水の源泉である大塩裏磐梯温泉が湧く地区です。山塩は平安時代から歴史があり、江戸時代には「献上塩」として会津藩に納められていましたが、1905年の塩専売制度によって途絶えてしまいます。しかし、2005年に復活。今では、会津山塩ラーメンや山塩ソフトなど様々な商品に使用され、皆様に愛される存在となりました。

次に「桧原地区」。標高800m、桧原湖の北側に位置する地区で、朝晩の寒暖差を活かした高原野菜の栽培が盛んです。寒暖差があることで甘みが増し、特にトウモロコシはびっくりするほど甘い！他にも大根や白菜などはサイズが大きく甘みが詰まっているため、冬の鍋料理に最適です。

最後に「裏磐梯地区」。県内有数の観光地として、年間約200万人の観光客が訪れます。1888年の磐梯山噴火により、一度荒野となりましたが、遠藤現夢など人々の尽力で今の美しい裏磐梯の姿に再生されました。沼によってエメラルドグリーンやコバルトブルーなど、異なる色に見える五色沼湖沼群も噴火の影響で形成された場所であり、裏磐梯を歩くと、あちらこちらに噴火の大きさを垣間見ることができます。

ほかにも、まだまだ伝えたい魅力が山のようにありますが、実際に北塩原村を訪れ、ご自身の目で見て体感していただければ、きっと「また来たい！」と思うはず。皆様のお越しを心よりお待ちしております。



“湖沼の国”裏磐梯(桧原湖上空より)



農家さんの愛情たっぷり高原野菜

杉並区民対象！北塩原村モニターツアー開催決定！

令和5年11月11日(土)～13日(月) 2泊3日(7食付) 参加費19,000円

～錦秋の裏磐梯で、特別な体験をしてみませんか？～

今回のツアーは、福島県北塩原村の「食」の安全とおいしさを伝えるため特別に開催されます。五色沼散策や農業体験など、魅力あふれる北塩原村でお待ちしております。詳細は、北塩原村商工観光課のX(Twitter)やHPをご覧ください。

北塩原村商工観光課 大島 瑤子

すぎなみ交流ニュース

Suginami Cultural Exchange News

第70号 2023年10月

스기나미 교류 소식 杉並的交流消息

発行：一般財団法人 杉並区交流協会 [Suginami Association for Cultural Exchange(SACE)]
〒166-0004 東京都杉並区阿佐谷南1-14-2 みなみ阿佐ヶ谷ビル5階
[Minami-Asagaya Bldg. 5F 1-14-2 Asagaya-Minami, Suginami-ku, Tokyo 166-0004 Japan]
TEL.03-5378-8833 FAX.03-5378-8844 E-mail: info@suginami-kouryu.org

発行：4回発行 ◆ 協会情報誌は区内施設窓口、区内の駅広報スタンドなどに置いてあります。

https://suginami-kouryu.org/

目次

- 忍野村 とうもろこし畑 続報ほか 2
- 「やさしい日本語」講座 ほか 3
- 北塩原村 観光案内ほか 4

QRコード: HP, Facebook, LINE

まるごと台湾フェア～すぎなみ台湾夜市 in すぎなみフェスタ

11月4日(土) 10:00～15:30 5日(日) 10:00～15:00 桃井原っぱ公園(桃井3-8-1)

中学生の野球交流や東京高円寺阿波おどり台湾公演などで、杉並区が交流を重ねる台湾。今年は「すぎなみフェスタ」と合同で開催し、大人気の台湾グルメに加えて、台湾歌謡や民族舞踊のミニステージ、台湾茶のワークショップなどを通じて、台湾の魅力を紹介しします。すぎなみフェスタでは、11月4日(土)には、台湾雑技団のステージもあります。どうぞお楽しみに！

- 台湾グルメ・特産品の販売 そのほか、ランタン作りや夜市遊びなど
- ミニステージ 定員:各回50名 (当日整理券配布 ①11:00～ ②13:00～)
 - ①台湾歌謡を歌おう 11月4日(土)、5日(日)12:30～13:00 講師:張瑞銘
 - ②台湾原住民舞踊 11月4日(土)14:50～15:20 5日(日)14:30～15:00 在日台湾原住民連合会
- ワークショップ 定員:各回12名 (事前予約制/10月15日までに) (協会ホームページから申込み)
 - 11月4日(土) 台湾茶の楽しみ方～お話と試飲 講師:林太一 参加費500円 (1)10:30～11:00 (2)11:30～12:00 (3)13:30～14:00
 - 11月5日(日) 台湾旅スケッチ～copicで描こう 講師:佐々木千絵 (対象 小学3年生以上) 参加費1,000円(スケッチセット付) (1)10:30～11:45 (2)13:00～14:15



在日台湾原住民連合会のみなさん



四季蓋碗 台湾旅スケッチ

共催:杉並区 後援:台北駐日経済文化代表処/台湾文化センター/台湾観光局・台湾観光協会

Event Information from SACE 交流イベント情報

開催時期	イベント名	イベント内容	開催時間	場所
10月	10/20(金)～21(土)	北海道名寄市 秋の物産展	20日 11:00～19:00 21日 10:00～16:00	杉並区役所青梅街道側入口前
	10/22(日)	おぢやフェア	11:00～13:30	小千谷学生寮
	10/26(木)	吾妻の朝市	10:00～14:00	杉並区役所中杉通り側入口前
11月	11/16(木)	吾妻の朝市	10:00～14:00	杉並区役所中杉通り側入口前
	11/20(月)	小千谷ふるさと市場	10:00～14:00	杉並区役所中杉通り側入口前
	11/26(日)	おぢやフェア	11:00～13:30	小千谷学生寮
12月	12/11(月)～15(金)	冬のなよろ写真展	8:30～17:00	杉並区役所区役所2階区民ギャラリー(A面)
	12/17(日)	おぢやフェア	11:00～13:30	小千谷学生寮
	12/21(木)	吾妻の朝市	10:00～14:00	杉並区役所中杉通り側入口前
	12/25(月)	小千谷ふるさと市場	11:00～14:00	杉並区役所中杉通り側入口前

※物産販売はいずれも雨天実施。売り切れ次第終了となります。マイバッグ(買い物袋)をご持参ください。 問合せ:区役所文化・交流課交流推進担当 ☎03-3312-2111(代表)

海外文化セミナー フルガリア

杉並区交流協会が毎年開催する「海外文化セミナー」。今年は「ブルガリア」を取り上げます。ブルガリアの魅力を紹介する講演会や演奏など、盛りだくさんのイベントです！

- 【日 時】 2023年12月16日(土) 12:00～16:30
- 【場 所】 セシオン杉並(杉並区梅里1-22-32)
- 【内 容】 講演、民族音楽・舞踊、観光・文化紹介、民芸品販売など 詳細は11月上旬頃協会HPに掲載いたします。
- 【共 催】 杉並区
- 【協 力】 駐日ブルガリア共和国大使館、ブルガリア音楽グループ「バルカン」、日本・ブルガリア青少年文化交流会、早稲田大学校友会杉並稲門会、ゆめある舎



展示室

講演
駐日ブルガリア共和国大使館 一等書記官
ベタル ニコラエフ氏

展示
ビリヤナ・ストレムスカ「バラの国の唄がきこえる」原画展、ブルガリア民族衣装、ウェディングドレス 他

ホール

ラドスラフ・ニコロフ ピアノコンサート & ブルガリアの音楽と踊り

〈時 間〉 開場13:00 開演13:30
〈定 員〉 500名
〈チケット〉 1,500円(全席自由)
〈チケット販売〉 杉並区役所内「コミュかるショップ」(9月1日～)他
〈問合せ〉 日本・ブルガリア青少年文化交流会
Tel 03-3398-1188

まるごと台湾フェア・海外文化セミナー共通 ◆ 申込み/問合せ:(一財)杉並区交流協会 Eメール:info@suginami-kouryu.org Tel:03-5378-8833 HP:https://suginami-kouryu.org/ *お車でのご来場はご遠慮ください。 *詳しくは杉並区交流協会のホームページをご覧ください。

交流協会の会員になりませんか? 杉並区交流協会では、国内・国際交流の推進をはかるために、様々なイベントを企画しています。あなたも会員になって、楽しく交流しませんか?

年度会費 ・個人会員 1,000円/年 (9月以降入会の場合は初年度に限り500円)
・法人会員 20,000円/年

会員特典 ① イベントの情報や交流に関する情報紙「交流ニュース」などをお届けします。
② 協会が実施するイベントに優先的に参加できる会員枠があります。

申込方法 杉並区交流協会まで申し込みください。
※LINEでも情報を送ります。友達登録をお願いします。

会員期間 入会の月から3月31日まで(当年度末)

忍野村 とうもろこし畑



5月22日(月)に杉並区の交流自治体である山梨県忍野村の畑にとうもろこしの苗を植えました。

とうもろこしは順調に育ち、「子ども日本語教室」の児童・生徒を対象に「忍野村とうもろこし収穫体験」を行いました。

7月31日(月)「子ども日本語教室」の児童・生徒(ネパール・モンゴル・フィリピン・シンガポール・ベトナム・中国・日本)、ボランティア、スタッフなど総勢30名は猛暑の東京を逃れ、バスで忍野村へむかいました。



忍野村では、現地の農家の天野さんから収穫方法を聞いた後、『しあわせコーン』という品種を、みんなで楽しみながら約200本収穫しました。収穫したとうもろこしは一度には持ち切れず、子どもたちは畑とコンテナとの間を元気いっぱい何度も往復しました。

次に忍野村にある『さかな公園』に移動し昼食をとりました。ここでは、忍野村観光協会の皆さんのご好意でもぎたてのとうもろこしをゆでて食べることができました。新鮮なとうもろこしの味に参加者は感動した様子でした。昼食後は水遊びやすべり台などの遊具を楽しみ

ました。その後『森の学習館』で忍野村の木の葉、実、葉っぱ、茎などを使ったネイチャークラフトを体験しました。ネイチャークラフトではボランティアに手伝ってもらいながら写真立てなどを作りました。子どもたちそれぞれの思いのこもった素敵な作品ができました。参加した子どもたちは先生やボランティアと一緒に自然豊かな忍野村で楽しい1日を過ごしました。(広報0)



参加した子どもたちの感想

- ★とうもろこしを折ってとるのが楽しかった。
- ★公園で滑り台をすべったり、水遊びをして楽しかった。
- ★とうもろこしがあまくておいしかった。
- ★バスの中のクイズが楽しかった。



参加したボランティアの感想

- ♥子ども達が目を輝かせながらとうもろこしを収穫する様子や、水遊びではしゃぐ姿に微笑ましく感じました。
- ♥フレーム作りも本当にみんなの個性が出ていて、おもしろかったですね。水場での遊びっぷりも個性的でした!
- ♥行きのバスの中、隣同士になった子ども達が最初はギクシャクしていたが、途中からおしゃべりしたり楽しそうに遊びだして仲良くなっていったのがよかったです。



『東京高円寺阿波おどり』が4年ぶりに開催されました!!

8月26日(土)2019年以来4年ぶりに東京高円寺阿波おどりが開催されました。杉並区の交流自治体からも100人近い踊り手が集まり『杉並区交流自治体～縁～』と『杉並区交流自治体～結～』の2つの連に分かれて多くの観客が集まる会場で、踊りを楽しみました。

開会前には、高円寺体育館でセレモニーが行われ、岸本区長、東京高円寺阿波おどり振興協会理事長の河原さんが踊り団を激励しました。

南相馬市の踊り手さんからは「東京高円寺阿波おどりは熱量がすごい。久しぶりだったが、連の進みもスムーズで多くの演舞場で踊れた。また、来年ここで踊れることが今から楽しみ。」といったコメントが寄せられました。



「やさしい日本語」講座を開催しました

講師に日本語教師の深田みのり先生を迎えて、6月はオンライン、7月は対面で開催。日本人24名と外国人7名が「やさしい日本語」でコミュニケーションを楽しみました。

「やさしい日本語」とは、むずかしい言葉を言いかえるなど、相手に配慮したわかりやすい日本語のことです。例えば「地震直後は身の安全を確保してください」という表現は、「地震が来たらテーブルや机の下に入ってください」と言いかえることができます。このように、普段使っている日本語の表現を少し工夫するだけで、子どもやお年寄り、障がいのある方、外国人など誰にでも伝わりやすい日本語になります。これが「やさしい日本語」です。本講座はこの「やさしい日本語」を活用して、日本に住む外国人のたちと円滑なコミュニケーションがとれるようになることを目的として開催しました。

講座の前半では、深田先生が具体例をあげて外国人の人にも伝わりやすい「やさしい日本語」を紹介、表現のコツを学びます。そして後半は、グループに分かれ実践です。在住外国人や留学生(6か国7名)の皆さんに協力していただき、先生が用意したテーマにそって「やさしい日本語」を使い、実際のコミュニケーションに取り組みました。どのグループも笑い声があふれ、楽しい講座となりました。最後に、参加者の皆さんの声を紹介します。

<日本人受講者>

- ・やさしい日本語への言い換えは意外とむずかしかった。
- ・わかりやすく伝えることは外国の方だけでなく、日本人同士でも必要だと思った。

<外国人ボランティア>

- ・私の日本語じょうずじゃありませんから、最初、緊張しました。でも、みんなやさしいですから、ゆっくり話しました。たのしかったです。

杉並区交流協会は、これからも多文化共生社会の実現に向けて、地域の方々と在住外国人の皆さんが互いに学び合い、交流できる場を提供していきます。



外国人ボランティアの皆さんと深田先生

子ども日本語学習支援ボランティア養成講座

今年1月、杉並区在住の外国にルーツのある児童・生徒を対象に『子ども日本語教室』が始まりました。今回はその教室で活動するボランティアを養成する『子ども日本語学習支援ボランティア養成講座』を紹介します。

養成講座は7月6日から始まり、全10回の日程で32名が学んでいます。取材した7月20日は、イーストウエスト日本語学校講師の永田晶子先生による「外国にルーツを持つ子どもを支えるために～さまざまな日本語や学習の支援教室」と題した講義が行われていました。永田先生は杉並区交流協会の地域日本語コーディネーターとして『杉並区子ども日本語教室』を立ち上げた一人です。今回の講義では、全国の日本語学習支援教室における取組について紹介があったあと、最後に「やさしい日本語」についての実践練習がありました。参加者からは「先生や参加者の熱意がすごい」「参加者が外国や言語に興味がある人が多く、共通点も多いのでばらしい出会いになった」などの声が聞かれました。

永田先生は、「杉並版『子ども日本語教室』は杉並区交流協会が杉並区や教育委員会と連携して立ち上げただけあって、課題や問題があった時に適切な対応ができています。子どもたちやボランティアの方の成長に合わせて私も多くのことを学ばせていただいている」とおっしゃっていました。また、今後は「幼稚園・保育園から大人まで隙間なく日本語が学べるような仕組みを考えていきたい。そして、今年中学を卒業する子どもたちがいるので、高校生になっても日本語を学べる場があるように、大人の日本語教室とも連携していきたい」と熱く展望を語っておられました。



永田晶子先生



子ども日本語教室参加者の国別リスト

小学生(高円寺教室)	26名
(国籍)	ベトナム、シンガポール、アメリカ、モンゴル、ネパール、中国、フィリピン、カナダ
中学生(済美教室)	15名
(国籍)	ネパール、フィリピン、日本(中国生まれ、中国育ち)